

アンケートのまとめ

海外視察報告について

率直な感想をお聞かせ下さい

- 報告者の人柄もよくわかって非常に興味深く聞くことが出来ました。一方、この種の報告は何度が聞いているがどうしても内容が“旅行記”になってしまい、本来伝えるべき趣旨が抜け落ちているように感じます。
- 忙しいのにごくろうさまというところです。ご本人にはいい経験となるでしょう。が、正直言って今のパンテックユニオンにとって海外視察そのものに意味があるのか、必要なのか。希望者あつての視察ならよいが、無理に人選してまでおつきあいで行くのなら今後は海外視察そのものを見直すべき。
- 本人の視野を広げ良い経験になったと思うがその経験が反映出来るかと言えば不安はある。これからの海外視察は業務に関係のある所へいけないかと思えます(そんな報告が聞きたい)。
- プレゼンが上手であった。内容自体はとてよかった。が、このような視察の本当の目的が何であるのかよくわからなくなった。
- 個人的には、別の社会を体験でき非常に良いと思う。ただ、今後も同じ場所を視察するのであれば単発の訪問とかではなく、なにか持続的な事ができればと考える。
- ベトナムとタイの経済状況、進出している日本企業の海外での考え方、働く人たちの現状等がよく分かり参考となる事の多い報告であった。
- 大勢の現地従業員に対し、日本人が数十人しかいないことに驚きました。
- 色々な国の事情がわかって良かった。
- 日本の資本が海外に色々な変化を与え、繁栄しているのはわかるが、国内事情を考えると複雑である。
- 聞きやすく興味を引く良い発表でした。
- 韓国資本がベトナムへ投資しているとも聞きますので将来の市場としても興味が湧きました。
- 主催者の意図としてどういった目的の海外視察であったかはよく分かりませんでした。が、海外の経済状態、町並み、文化などにふれることができたみたいで、すばらしい海外視察だったと思います。
- 報告も国の事情等も説明していただいたので背景もよく分かりすばらしい報告だったと思います。
- 報告者の発表から、タイ・ベトナムの生活習慣や企業の様子が少しだけわかりました。
- 発表の中で鮮明に憶えているのは、市内を走るバイクは縦横無尽に走るために横断が命懸けであったこと、水でなく現地産の果物で腹痛を起こしたことです。リアルであり、面白かった。
- 今回の海外視察が報告者にとって、とてもいい経験となったのだなと思いました。あと、発表がうまく、わかりやすかったです。
- 内容は大変良くできていたと思った。
- 工場の視察については、現地で視察してきた内容だけでなく帰国してから調べた内容も加えられ充実した報告だったと思います。また、文化や歴史にも触れられ興味深く聞くことが出来たので、60分ではなく90分程度の時間があつたならと残念に思います。
- パンテックユニオンの代表として極めてまじめに海外視察をまっとうしていたのはすごい

と感じた。

- 海外にあまり興味が無く自分では海外旅行など考えていなかったと言われていた報告者が訪問された国（タイ、ベトナム）に興味を持たれ、また行って見たいと言われていたのが印象的でした。実際に観光で表向きに行くところだけでは無く、現地の方が実際に生活をされている様子を見る事ができた事がより興味を持つきっかけになったのだと思います。夜にガイドさんと別行動をしてCDショップなど現地の生活を身近に感じてこられた事や果物でお腹をこわしたなど臨場感があり興味を持って聞くことができました。
- 海外に行かれた話しは、大変興味を持てた。
- 私自身も仕事で海外に行った経験があり、自分自身が経験した事と重複している感じがした（食事等々で苦労した事とか）。
- 報告者の担当業務もあり現地労務の詳細が聞けて良かったと思います。
- 欲を言えばもう少し元気よく発表すればよりよい報告になったと思います。
- モンゴル訪問のようにビデオでの説明の方がよりおもしろいと思います。
- 短い期間の中での視察ご苦労様でした。初めての海外で食事等苦労されたと思いますが、よくあちこち回られたと思います。



海外視察に行けるチャンスがあれば行ってみたいですか？

行きたい.....15名

行きたくない..... 5名

問 - で「行きたい」と答えた方
どこの国のどんなところを見たいですか？

- 昨年モンゴルを訪問し、よい勉強になった。いろいろな人に海外視察の経験をして欲しい。
- 復興途上のカンボジアで民衆のパワーを感じてみたい。
- 今後経済市場として大きく発展する可能性のある中国など。
- ヨーロッパ。ウオータービジネスの動向等知ってみたい。
- 国はどこでもかまわないが、今まさに経済発展中の国。
- 発展途上国の現状の製造技術と10年先の国民性の違いによる仕事に関する考え方の違い等。
- 特にありませんが、治安がいいところ(冗談ですが食中りしないところ)、日本企業(とは言いながら当社しか知りませんが)との違い。
- 具体的な国は思い浮かびませんが、現在の日本が直面している構造不況から過去に立ち直った経験を持っている国の製造業界をみてみたい。
- トルコ、エジプト、イラン、インドなどの遺跡。
- パプアやボルネオ、アフリカや南米などの自然。
- 韓国中国ベトナムなど今後市場となるアジアの国々。
- アフガニスタンに行ってみたいです。戦争の傷跡や生活環境・貧困など報道とは違う現実を直に見てみたいです。かなり危険ですけど...
- 欧州の工業地帯を見てみたい。

- 本音を言えばアメリカかヨーロッパですが、そんなところは行かしてもらえないので発展途上国であまり危険がなく食べ物のおいしいところ。とりあえずどこの国と言ったことはありません。
- 中南米。(ブラジル、アルゼンチン)ここ近年の貧困により貧富の差がすごく生まれている国のためどのようなところなのか経験してみたい。
- 韓国、台湾。
- チャンスがあればどこでも行ってみたいですが、出来るだけ若い人と業務で機会のない人に行ってもらいたいと思います。

問 - で「行きたくない」と答えた方
どうして行きたくないのですか？

- 仕事、家庭を空けたくない。
- 不慣れ。
- 業務多忙で日々の生活に全く余裕が無いから。また海外視察の必要性に疑問を感じるから。
- 英語 + 海外が嫌い。
- 目的が見えない視察には行きたくない。
- 食事及び言語で苦労した経験があるから。
- 海外へはゆっくりと遊び感覚で行きたいから。

基調講演 (第6期の総括と第7期の 課題と方向性) について

率直な感想をお聞かせ下さい

- ここ二年間は大変であったことを改めて理解した。
- 自分でもそうですが、自信のない説明を行う時は、なかなか伝えられないですが、発言の途中で「ごめんなさい」「すみません」は不要と思います。
- 常議員全員に本当に理解できているのか不安ではある。また全員にわかりやすくポイントを掴んだ説明にしてもらいたい。
- これからの課題の方向性を見極めるために組合役員としての責任、重要性をあらためて教えていただきました。
- 今期の業績を考えると大変難しい組合運営になるのではないかと思います。
- 会社の状況が厳しいのは皆認識していると思います。組合員としては、1億円の黒字化を目標に、会社として具体的に何をするのか、どういう改善をし、どこに力を注いでいくのか知りたいと思います。
- 正直、内容は理解し難かったが、意気込みは感じられた。
- 6期活動の反省点を7期にどう生かすか？コメントがほしかった。同じ事を繰り返さぬように。
- 激動の第6期総括と社内にあるモラル維持・向上に対する認識欠如のひどさ、並びに第7期への組合の意気込みが感じ取れました。
- よかったと思います。ただもう少し本音が見えたら更によかったと思います。
- 第6期の成果は素晴らしいものだったと思います。執行委員長の言われるよう、1年目が“明”であれば2年目は“暗”でしたが、今の状況は先代の常議員・執行委員の方々の努力であったと思います。また、現在の危機感の薄さや一部に見受けられる他人事の様な姿勢には少々がっかりします。
- 全社再建計画は、組合としても是非是非早急に提出してもらわなければと思った(「いつまでたっても会社は再建計画を出さないし、組合はちゃんと会社にいつているのか!？」と組合員に言われかねない)。あと、井上事務局長の発表、一所懸命で良かったです。
- 口調にメリハリがないので文章を読んでいるだけのような気がする(慣れていないせいもあるが)。
- 事務局長なのでくだけてしゃべりにくいと思うが委員長のようなしゃべりも良いのでは。

普段、話をしているような話し方でもいいと思う。

- 第6期に何をし、第7期に何がしたいか表面上は分かったが、そこに至るまでの経緯、思い等があったはずだが、今一伝わるものが無かったように思う。
- せっかくの教科書が良く活用出来ていなかったのが残念。
- これまで基調講演は委員長が行っており、特に6期の総括については前任者の仕事でもあり、率直に言って少し酷なような気がしました。ただ、緊急対策など会社との交渉については説明が難しいにしても、「ソフト」と「ハード」の両面で検討し4年間かけて形にしてきたオープンハウスの成果については、一緒に頑張った仲間として井上事務局長にはもっと胸を張って報告して欲しかったです。
- ここ数年で伸び悩んだら、頑張っって会社を良くしていこうという社員（出来る社員）はうちの会社からいなくなるのではないかと推察できる。
- 会社の厳しい状況を再確認した。会社の業績により交渉内容が大きく変わっている。業績改善が急務と感じた。
- 声が大きく聞こえやすかった。
- 厳しい状況下での労働組合の活動の重要性が理解できました。
- 大体わかりました。

今期、パンテックユニオンの活動で期待することをお聞かせ下さい

- 今期・来期ともに厳しい状態は続くと感じます。非常に難しい交渉が多くなると思います。組合員への説明を十分実施し、出来るだけ理解を得ることが重要と思います。
- 永年勤続の早期凍結解除。一時金の水準アップ。
- 会社としての生き残りは最重要課題ではあるが、その前に組合員の個人レベルでの実体・

要望を受けとめ、生活モラルの回復・向上を目指した活動となるよう期待したい。

- 雇用の確保を最優先に会社との交渉を行っていくと共に会社施策を監視できる実を持った組合になることが必要だと思います。
- 組合の存在価値が十二分に理解していただけるようがんばってほしい。
- 新人が多くなり、これまでの延長線上の活動でなく新しく活気のある活動を期待している。ただ、古い活動、考え方がどうしてあるのか、理解の上での活動で有ってほしい。
- 会社がますます厳しくなる中、組合員のモチベーションが下がらないようにフォローして欲しい。
- 労働者の権利確保にとどまらず社員の“やる気”を創造していく活動を期待しております。
- ますます厳しくなる事業環境の中で組合員に不安を抱かせる事のない様、クイックで質の高い活動を期待します。
- 対会社関係については、春闘は勿論ですが、会社再建にかかる対策については現状以上に組合員に負担がかからないよう交渉してほしい。
- 今すぐには、これというものが言えませんので、様子見ながら徐々に発言させていただきます。
- ビジョンづくり委員会は、10年後の組合をどう予想するか？どうしたいか？を考えるのはこれまでに無い活動で興味があり、期待しています。委員会の当事者なので楽しみです。
- 激動の時代が続く中、若い世代の人たちには期待をしている。又期待が出来るような人材の育成も出来て来ていると思う。パンテックユニオンもそうだが世代交代が急速に進む中、若手の台頭には目を見張る物が有る。パンテックの若い人たちはうまく育ってきていると思います。育てないと明日はない。ユニオンがやっていることは若手の育成に非常に役立っていると思うので、今まで以上にいろんな行事等で頑張っって欲しい。又頑張れば頑

張るほど執行部は大変しんどい思いをしますが、若い執行部の自分自身のため若い人たちのためにガンバレと言いたい。

- 若い人が会社の将来について真剣に考え、語り合い、様々な提言として形にしていく。「ビジョンづくり委員会」よい試みだと思います。前期のうちには出来なかったこと、前期の活動がベースになっていること、いろいろあるけれどしっかりと立ち上げて欲しいと思います。
- 現在の会社の状況を正確に理解できるよう情報伝達に注力頂き社員のベクトルをあわせ難局を乗り切れるようがんばって頂きたい。
- 経営側に黒字転換に対する具体的な方策を説明頂けるよう引き続き求めて頂きたい。
- 当社の業績が低迷している中、一時金の大幅減額等の緊急処置を実施していたがこのままこの状態が続くと組合員のやる気が低迷し、さらに業績が低迷する等の悪循環になる可能性があります。従って、今期は会社は上記の事を十分に認識頂いて、前期の様な一時金及び緊急処置をしない様にして欲しい。
- 会社経営へのチェック機能の強化。
- 一時金水準の回復。

常議員の役割と

ユニオン基礎知識について

常議員としての抱負を聞かせて下さい。

- 従業員の意見を充分反映し運営できるよう常議員として協力したい。
- 代議員として、常議員の助けが出来るよう頑張りたい。
- 職場周辺の士気向上に努める。
- この大変な2年間に常議員というものを任せられましたが、勉強も兼ねて色々な意味で頑張りたいです。

職場の意見をまとめるのは大変だと思いますが、頑張っていきたいと思っています。会社

も変わって欲しいが、良い意味で職場を少しでも変えていけたらと思っています。職場の意識をどれだけ変えていけるのかは解りませんが、自分に与えられた任期の期間は全力で頑張っていきたいと思っています。

- 会社が低迷する中、労使協議が大変難しい状態となっております。この様な状態なので、組合員の声を確認して執行部に報告したいと考えております。
- 最低でも自分のブロックの組合員意見を組合へ反映させていきたい。
- 前々期より常議員になり、あまり動けていなかったと感じます。昨年は、出来るだけ常議員会等参加するようにしましたが、今期はその結果を組合員に説明するようなこともしていきたいと考えます。状況が厳しい時であり、なかなか文書で伝えるのも難しくなっているのではないかと思います。
- 組合員にとって本当に大事なこの時期に常議員に選ばれたことを光栄に思い、がんばります。
- 常・代議員のみ組合活動をするのではなく若い人からも積極的に意見を出してもらい、色々と発表出来るようがんばりたいと思います。
- 職場の意見をよく聞き常議員会で表明していきたいと思っています。
- 今までよりも広い視野を持って、日々過ごさ



なければと気が引き締まる思いです。

- 前期に引き続いての常議員拝命ですが、職場の意向を的確に反映出来るよう風通しの良い環境づくりを心がけていきたいと考えております。
- これからの大事な時期を乗り越えるため、現場組織を取りまとめていく立場として常議員に協力は勿論のこと組合員に情報を素早く伝達していきたい。
- 今まで、常議員、代議員におまかせでしたが、代議員になったことを期に、人任せではなく、組合員の日頃の不信、不安、疑問に思っていることを常議員会等で、発言していきたいと思っています。
- これまで代議員でポイントだけ会議に出席し、よく分からないまま活動してきました。何で常議員に選出されたか...しかし、せっかく常議員になったのだから前向きに活動に取り組み、自分の糧にしたいです。
- 執行部の後押しが出来ればいいなと思う。

- 厳しい企業動向を背景に取り組む事となり決断をする機会が数多く出てくると思うが十分理解した上で判断していきたい。
- 執行部も常議員も代議員も組合の役員であることには変わりありません。置かれた立場で会社がよくなるよう考え執行部をサポートしたいです。また審議事項に対し責任を持った決断を行い、判断していきたいと思います。
- すごく意識の高い人（会社を変革したいという希望を持っている人達）の集まりだと感じました。関谷執行委員長の話でもおっしゃっていたが、この大変な2年を乗り切るように頑張りたい。パンテックユニオンが頑張ることで他の社員のやる気、仕事への取り組み方が変わればいいな〜と感じた。
- 職場の意見を多く聞き、組合活動へ反映させたいと思います。

以上

